

動物衛生学実習

獣医衛生学実習(2011.4.19)

宮崎県口蹄疫防疫実働演習の見学に行きました。

県庁本館、4号館、宮崎市役所でそれぞれ県対策本部、現地対策本部、市対策本部を設置し、その後、県庁6号館で演習総括をしました。



各担当部署毎にテーブルを囲む。

TV会議システム、大画面モニター利用。

(通報地(仮)の周辺道路事情を情報収集する。)

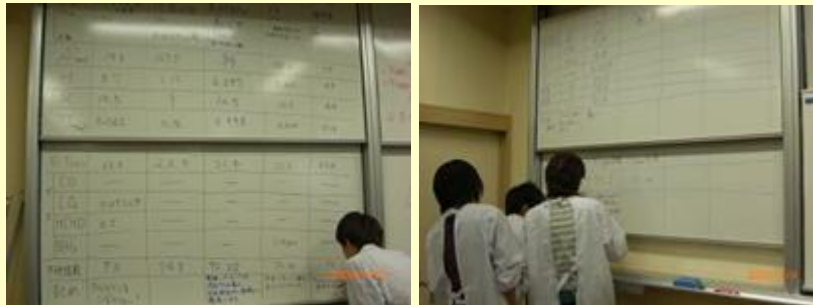
防護服の着脱演習もありました。

動物感染症学実習風景 2010.10.21

検査のためのサンプリングと輸送方法について実習しました。

動物感染症学実習風景 2007.4.25

感覚温度を測定しました。カタ寒暖計。覚えておきましょう。



2009.5.20.検査結果を板書



2007.4.25.環境中のガスを測定しました

2008.4.9.環境中のガスを測定しました

20120613 畜舎環境測定 (ガス検知器)

-犬舎のアンモニアガス測定 (1分間保持中)

獣医衛生学実習(2010.4.21.)

2010.4.20.宮崎県で口蹄疫疑似患畜の報告があった。

この日、例年の防疫実習日程を繰り上げ、急遽、農場のバイオセキュリティー、防護服着用の意義(2つ)、消毒の大事な工程について説明し、実践した。

獣医衛生学実習(2009.4.22.)

今年は天候も曇りで、風もあり、比較的防護服着用の学生も『暑い、暑い』の言葉は少なかった。

また、防護服の種類で密閉度が異なり、目的別に着用する必要性があることが確認できた。

(2008.5.14)

ポータブル噴霧器は電源がなくても使用可がメリット。

しかし、重い。

防護服、ゴーグル、手袋、シューズカバー、マスクを実際に着用し、車両消毒のシミュレーションを実施しました。

うまく歩かないとシューズカバーに穴が開き、踏み込み消毒槽に入った後、消毒液がしみこみました。

下は動力噴霧機

トラックはタイヤと荷台を重点的に消毒しました。

息苦しく、暑かったです。

(2007.1.宮崎を高病原性鳥インフルエンザが襲い、2008年5月は秋田県、北海道で白鳥からH5N1が検出されました。)

獣医衛生学実習(2010.4.28.)

動物舎周囲に石灰散布をしました。

獣医衛生学実習(2012.4.25.)

今年も動物舎周囲に石灰散布をしました。

獣医衛生学実習(2012.5.23.)

石灰乳散布実習もしました。

獣医衛生学実習(2006.5.10., 2008.4.16)

動物舎・解剖室の床、壁、天井あるいは動物体表の拭取り検査を各班毎に設定し、実施しました。

1班から5班各班毎のペトリフィルムによる大腸菌検査(2006.5.10.)

動物舎の床と体表の大腸菌検査例(2006.5.10.)

スタンプマンを使用した検査(ブドウ球菌と真菌)(2006.5.10.)

獣医衛生学実習 (2008.5.14)

アル綿で消毒した後の皮膚表面から多数の菌が分離されています。

これは、消毒不十分ということです。(2008.4.16.)



アル綿で消毒した後の皮膚表面から多数の菌が分離されています。
 これは、消毒不十分ということです。(2008.4.16.)
 再試験。段々、去年の微生物実習の感覚が戻ってきたのでしょうか。
 単コロニーがきれいに作られています。(2008.5.2.)

2009.6.3.拭取り試験。
 ペトリフィルムに安全キャビネット内で接種しています。



班毎に検査結果について発表し、採材場所の検討をしました。(2009.6.10.)
 バイオハザード対応キャビット内で観察します。(2007.5.16.)
 動物舎の床と体表の検査例(ブドウ球菌と真菌)(2006.5.10.)
 拭取り材料をポアカルチャー(一般細菌)(2006.5.10.)
 菌数を各集落ごとに測定しています(2006.5.10.)

牛の体表。アルコール綿消毒前(左)と消毒後(右)(2006.5.10.)

獣医衛生学実習(2006.5.24.)

動物飼養環境、微生物学実習室、
手術室等空気衛生を落下細菌検査によりみてみました。
各班ごとに測定場所を選定し、37℃48 時間培養後に観察しました。(2009.5.27.)
安全キャビネット内ではさすがに浮遊細菌はいなかったようです。
しかし、牛を飼育している牛舎近くでは多数の落下細菌がありました。
当たり前ですね。その中身と対策を考えましょう。(2009.5.27.)

獣医衛生学実習(2007.5.16.)

各消毒液の MIC 測定と短時間殺菌試験を実施しました。

消毒薬の選定基準はどうする?

短時間殺菌試験。平板培地の結果観察中。

GP 液体培地を観察中。

各班のデータをもとに消毒薬の選定。

獣医衛生学実習(2008.5.7.)

獣医衛生学実習(2006.5.31.)

飲料水としての衛生検査

(過マンガン酸カリウム消費量)を検査しました。

各班ごとに検水材料を選定しました。

<10ppm が基準

獣医衛生学実習(2006.6.7.)

飲料水としての衛生検査

(官能検査、pH、アンモニア性窒素、塩素濃度、残留塩素、一般細菌数、大腸菌群数)を検査しました。

ポータブル pH 測定器(2006.6.7.)

LB 培地への検水接種(バイオハザード用キャビネットを使用)(2006.6.7.)

獣医衛生学実習(2009.6.17.)

獣医衛生学実習(2009.6.17.)

官能検査、pH などの結果を班毎にまとめて、検討しました(2009.6.17.)。

残留塩素の測定(DPD 法)(2008.5.7.)

※注オルトトリジン法は廃止となりました。

無数の菌が検出された検水がありました(2006.6.7.)

大腸菌群の検出された検水が出ました。

ダーラム(発酵)管・・・key word です。(2006.6.7.)

陽性はどれでしょうか?(2007.6.16)

(2008.5.7.)

0/5 本

大腸菌群が検出されないことが条件です。

5/5 本

2010.9.29. 口蹄疫発生のため、前期にできず、集中実習となりました。
飲料水として、普段使用している水道水から大腸菌群が検出され、騒然となりました。

09.07.14.



獣医衛生学実習

2008.5.28.

牛乳の検査(総固形分、比重、滴定酸度、脂肪分)を検査しました。

総固形分測定。

沸騰水上で牛乳の水分を大方蒸発させておきます。

(09.07.14.)

総固形分測定。

99℃±1℃で、まず、3時間乾燥させます。

その後、重量測定し、その差を求めます。(09.07.14.)

総固形分測定。

総重量を 0.1mg 単位で測定します。(10.9.29.)

ラクトメーターで比重測定。(09.07.14.)

乳脂肪分測定。

ブチロメーターの管壁に沿って検乳に反応液を静かに加えます。(09.07.14.)

しっかり、蓋をし、ブチロメーター持つ手は二重軍手。

硫酸が反応して熱が出ます。(2010.9.29..)

ゲルベル専用の遠心機(65℃恒温)。

乳脂肪分が分離しています。何%ですか?(2010.9.29.)

ブチロメーターで乳脂肪分測定。(2008.5.28.)

滴定酸度測定。攪拌してもピンクが消えないポイント。2008.5.28.

検乳の検査成績。

さて、判定は?

レポート提出で。(2008.5.28.)

2012.06.20

削蹄実習(学生全員が削蹄を経験。

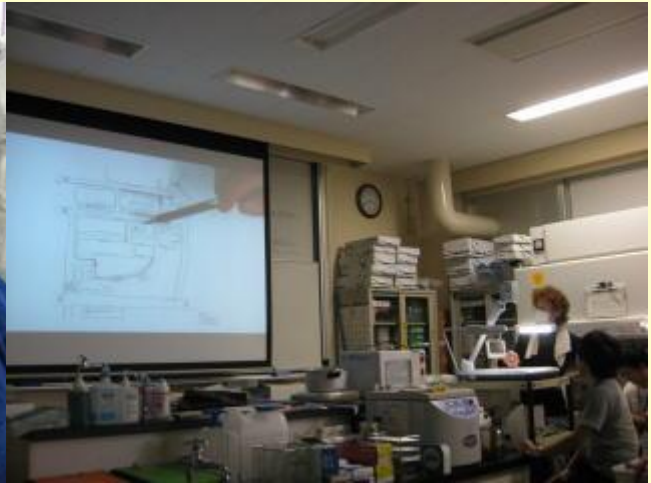
蹄は食肉処理された健康牛のもの

(宮崎県食肉衛生検査所のご厚意にて無償提供いただきました)

2012.07.11

FMD 防疫演習(各班、防疫動線、

作業手順等について発表し、討議しました)



2012.07.11

FMD 防疫演習 (学内の牛が口蹄疫に罹ったことを想定し、先遣隊の役割を実地演習しました。
農場概要図を書き、防疫動線等について検討作業...

2013.06.19

FMD 防疫演習 まずは保定から。



2013.06.19

FMD 防疫演習 牛の舌を引き出し撮影に挑戦。かなり苦戦しました。